

編集後記

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、学校教育にも大きな影響を及ぼしています。感染拡大に伴う臨時休校や学校行事の中止など、子どもたちの日常は大きく変化しました。

教育を受ける権利と義務に空白ができないように、学校教員は遠隔授業や教材提供など、あらゆる手立てを講じて努力しています。しかし、未曾有の非常事態が長期化、「教育格差」「生活習慣」「非認知能力」等の課題が浮き彫りになってきました。それは、教育課程の実施形態が対面授業を前提としてきたからです。ウィズコロナ時代の新しいライフスタイルは、学校教育にも求められ、ICT活用による遠隔授業も交えなければ立ち行かなくなりました。

人間科学部会では、この状況が学校教育の枠組みを示す学習指導要領の更新期と重なったことに着目し、変革を余儀なくされている学校教育に指針を求めるべく、金沢大学の折川司氏(人間社会研究域 学校教育系国語科教育教授)にご依頼して学術講演会を開催しました。コロナ禍の折から、Zoom録画によるYouTube限定配信という方法で実施しましたが、視聴した学生や教員は、折川先生が結びで強調された「私たちは言葉によって認識し、思考し、表現・交流しています。それゆえに、言葉にこだわり、言葉を用い、鍛えていく国語科という教科の指導は極めて重要です。」に触発されました。そこで、対面か遠隔か、口頭か文章かを問わず、人間生活における意思の疎通や感動の表現に不可欠な「言葉」について各々の経験や立場から振り返ってみました。

その記録として、巻頭には講演抄録「新学習指導要領に基づく国語科教育とその課題」と「小特集：新学習指導要領と国語科教育のゆくえー幼小中高大を通じてー」を掲載しました。ご多用の折から、ご講演いただいた折川先生に記して厚く御礼申し上げます。また、石川県教育委員会ご担当のご紹介によりご視聴いただき、貴重な感想コメントまでお寄せくださった教員の方々にも心より感謝申し上げます。ご協力ご支援、誠に有り難うございました。

今号は、巻頭の講演抄録と小特集の2件を除き、こども学科3件、スポーツ学科4件、人文学部1件、短期大学部1件、合計9件の投稿がありました。

どうぞご高覧ご批評くださいますよう、宜しく願い申し上げます。

2021年9月吉日

編集委員長

馬場 治

《投稿された論文等に関する著作権は、基本的に人間科学部会に帰属します》
「金沢星稜大学学会 会則と規程等」については、下記のWEBサイトをご覧ください。

<http://www.seiryu-u.ac.jp/u/education/gakkai/research02.html>

金沢星稜大学人間科学研究 第15巻第1号
(通巻第28号)

令和3年9月29日 印刷
令和3年9月30日 発行

発行 金沢星稜大学学会人間科学部会

〒920-8620 金沢市御所町丑10番地1
TEL (076) 253-3984
FAX (076) 253-3998

印刷所 ソノダ印刷株式会社

〒921-8161 金沢市有松4-3-26
TEL (076) 247-5157

金沢星稜大学学会人間科学部会

部会長 奥田鉄人

編集委員 馬場治(委員長)

金澤愛子 山本智恵子